2016.01.25

**第３回国連人間居住会議（ハビタット３）について**

1. 国連人間居住会議

国連人間居住会議は、都市問題の方向性や住宅を含む居住環境のあり方など人間居住に関わる課題解決のために、各国政府、地方公共団体、ＮＧＯ、国際機関等の代表者が一堂に会する正式な国連会議である。

第三回国連人間居住会議（ハビタットⅢ）は本年10月にエクアドル・キトで開催される。本会議は20年ごとに開催されており、第一回会議は、1976年にカナダ・バンクーバー、第二回会議は、1996年にトルコ・イスタンブールで開催された。

ハビタットⅢの正式名称は「第三回住宅と持続可能な都市開発に関する国連会議 (The Third United Nations Conference on Housing and Sustainable Urban Development)」であり、今後の都市政策や住宅政策、都市の経済開発と環境負荷、コンパクト化などの都市空間戦略、都市環境と防災、都市財政とガバナンス等に着目して議論が展開される。

1. 第３回会議に向けた準備状況等

■2014年９月17日～18日　第１回ハビタット３準備会合（ニューヨーク・アメリカ）

■2015年４月14日～16日　第２回ハビタット３準備会合（ケニア・ナイロビ）

■2016年７月25日～27日　第３回ハビタット準備会合（スラバヤ・インドネシア）

■2016年10月17日～20日 　第３回国連人間居住会議（ハビタット３）（キト・エクアドル）、ニュー・アーバン・アジェンダについて議論、採択

■政策委員会：ハビタット３事務局は10の政策委員会（都市の権利、社会・文化的フレーム、国の都市政策、ガバナンスと制度の開発、地方自治体の財政、空間戦略と土地市場、経済開発、環境と強靭性、サービスと技術、住宅政策）を通じて、新しいアーバン・アジェンダを草案している。

■国内委員会：ハビタット３に向け、各国は国内委員会を組織して国別報告書を作成する。我が国は外務省・国土交通省が共同議長となり、関係省庁等による国内委員会を組織して国別報告書を作成し、昨年12月にハビタット３事務局に提出した。

1. 会議の背景
	1. 急速な都市化の進展

都市化率：　37.9%(1976年)　→　45.1%(1996年) → 54.5%(2016年)

* 1. 都市の影響力の巨大化

都市の面積は全体の２％　←→　経済活動：70％、エネルギー消費量：60％以上、温室効果ガス：70％、廃棄物量：70％

＊本資料はハビタット３推進協議会において作成したものである。